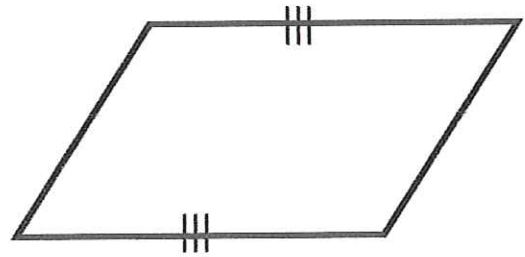
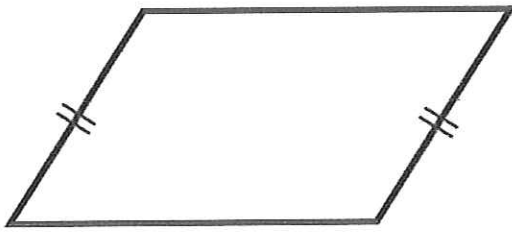
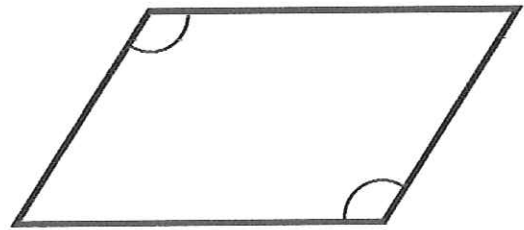
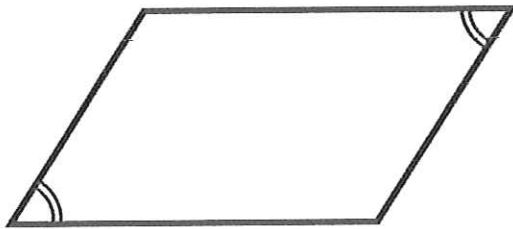


平行四辺形の性質

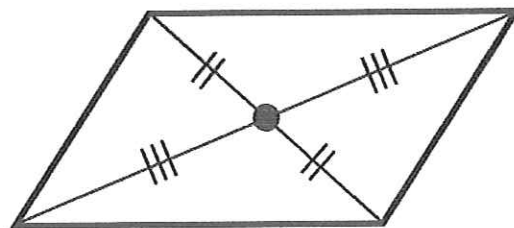
① 向かいあう辺は2組とも等しい。



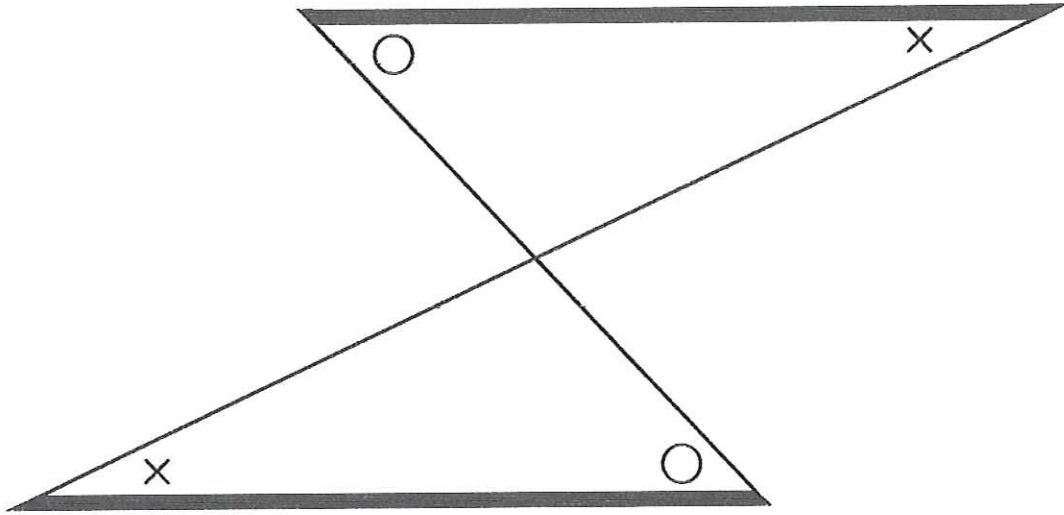
② 向かいあう角は2組とも等しい。



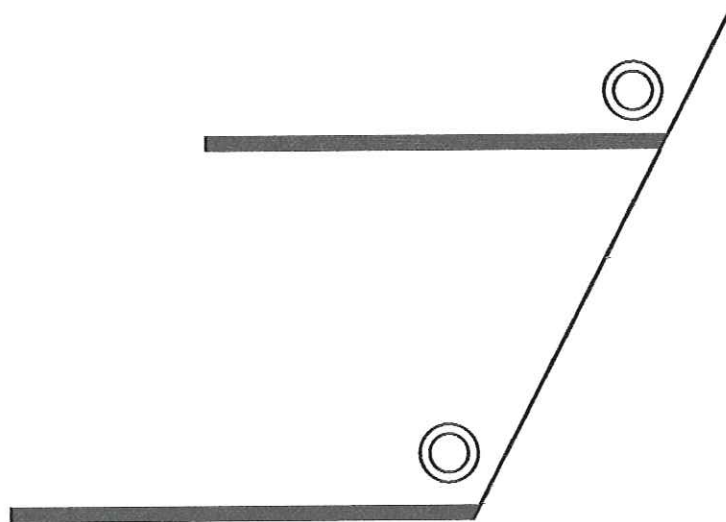
③ 2本の対角線は真ん中で交わる。



平行線の性質



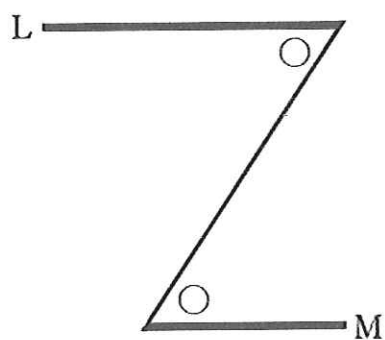
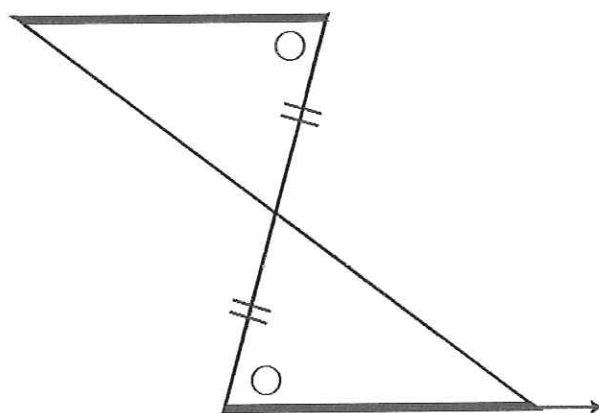
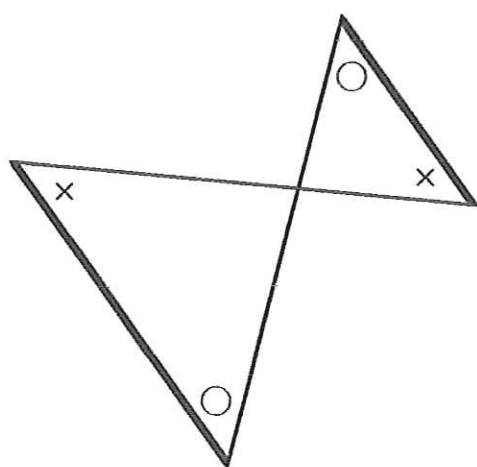
錯角が等しい。



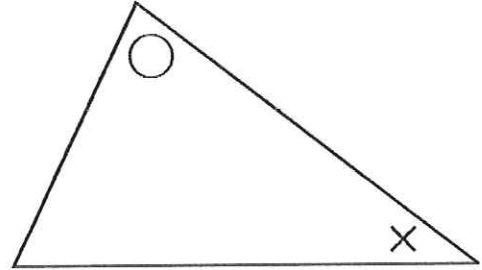
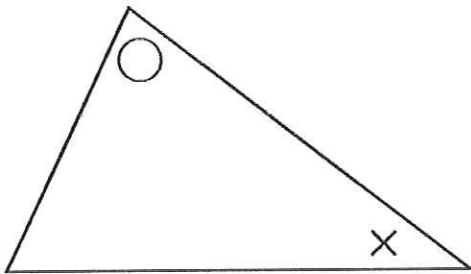
同位角が等しい。

平行であるならば
同位角・錯角が等しい

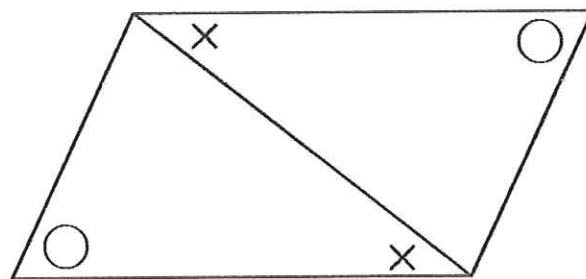
下の図は、太線どうしが平行です。等しい角は・・・



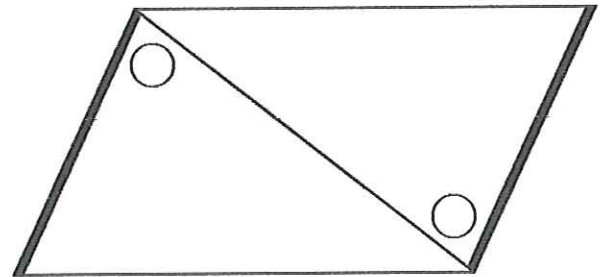
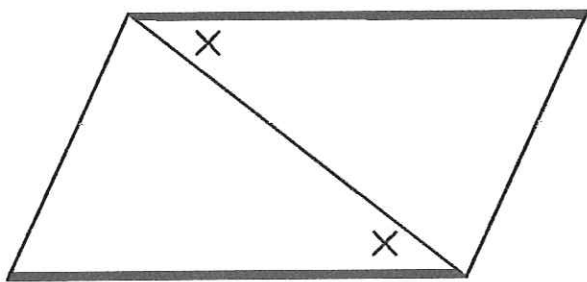
2つの合同な三角形があります。



上の三角形を切り取り
下の図のように合わせます。



すると、錯角のひとしい2組の辺が考えられます。



錯角が等しいとき 2辺は平行です。

合同な三角形を上のように組み合わせてできた四角形は

2組のむかいあう辺が平行ですから

平行四辺形です。

理解できたら上の図を使って説明しなさい。

平行四辺形の定義

向いあう辺が

2組とも平行な

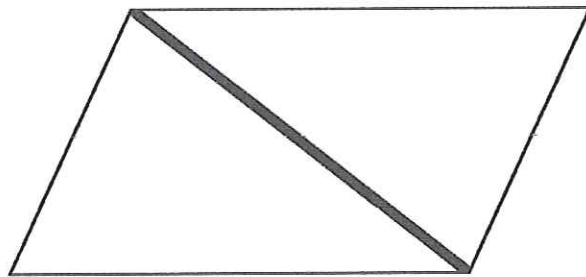
ふた くみ

四角形を

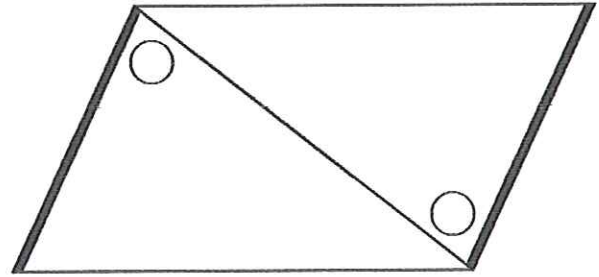
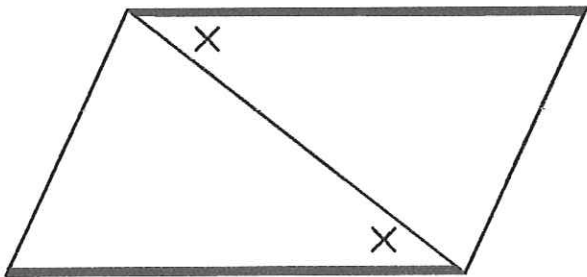
平行四辺形と言う。

覚えて言いなさい。

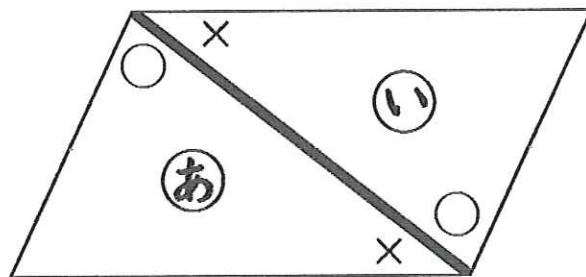
[むかいあう辺が2組とも平行な四角形]である
[平行四辺形]に**対角線**をひきます。



平行四辺形は定義により
むかいあう辺が**平行**です。



平行であれば、**錯角**が**等しい**。

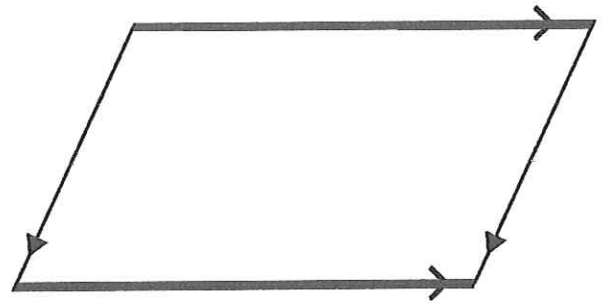


三角形①と②は

[対角線を共通の辺とし
両端の角がそれぞれ等しい]ので
合同な三角形です。

そのことからいくつかのことが言えます。
考えなさい。(対辺が等しい 対角が等しい)

四角形において
もし
対辺が2組とも
平行ならば



対辺は2組とも等しい。

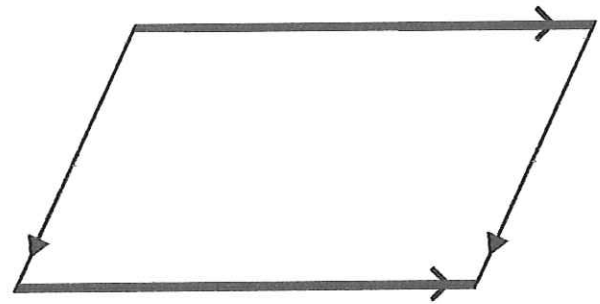
このことを

平行四辺形の
対辺は等しい。

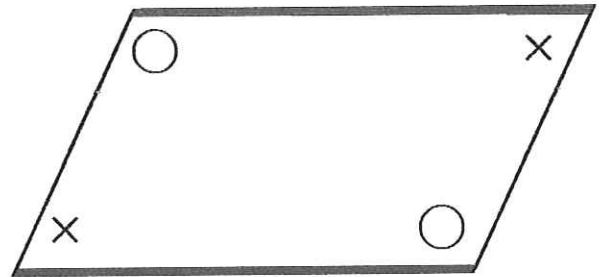
のように言う。

覚えて言いなさい。

四角形において
もし
対辺が2組とも
平行ならば



対角は2組とも
等しい。



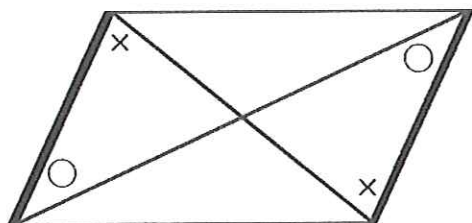
このことを

平行四辺形の
対角は等しい。

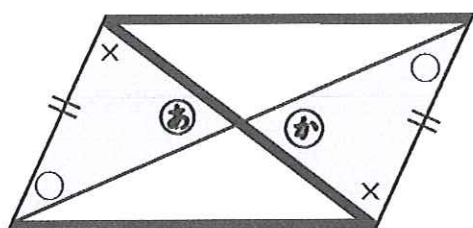
のように言う。

覚えて言いなさい。

平行四辺形の 対辺が等しいことが証明されました。



平行四辺形の対辺は
2組とも平行ですから
図のように
錯角が2組等しい。



図の三角形 **あ** と **か** は
1つの辺と両端の角が
それぞれ等しいので
合同です。

それゆえ対応する

$$AO = CO$$

$$BO = DO$$

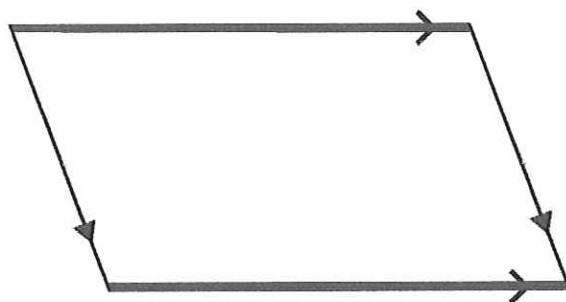
です。

これを

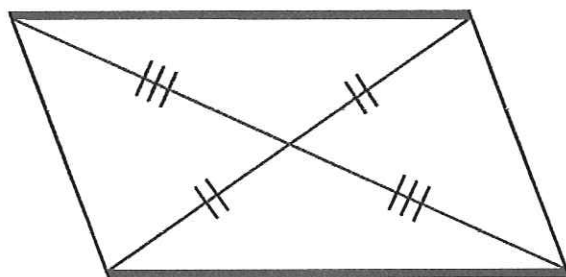
**平行四辺形の
対角線は
中点で交わる。**

と言います。

四角形において
もし
対辺が2組とも
平行ならば



対角線は中点で
交わる。



このことを

平行四辺形の
対角線は中点で交わる。

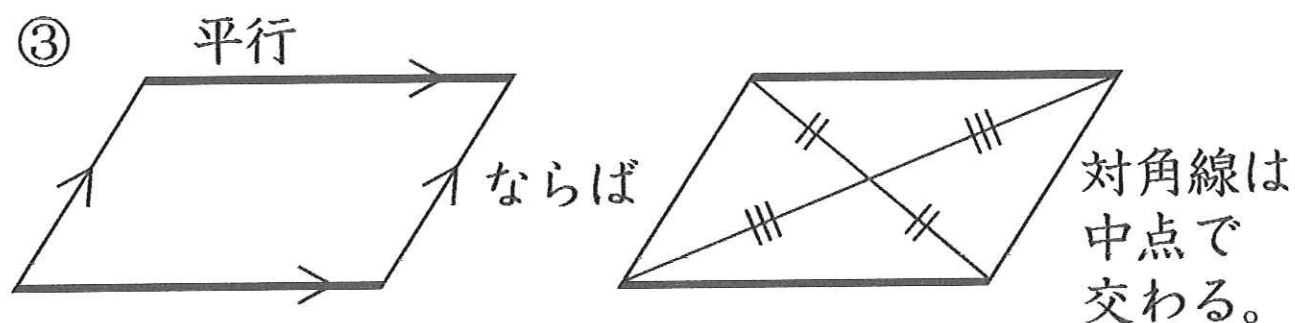
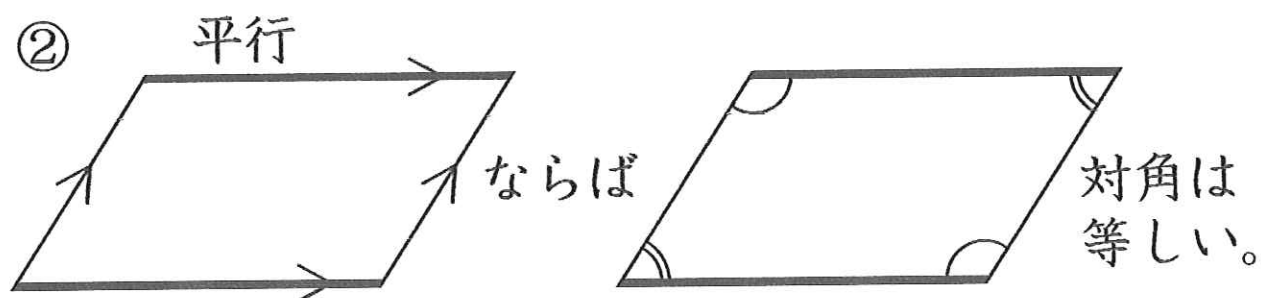
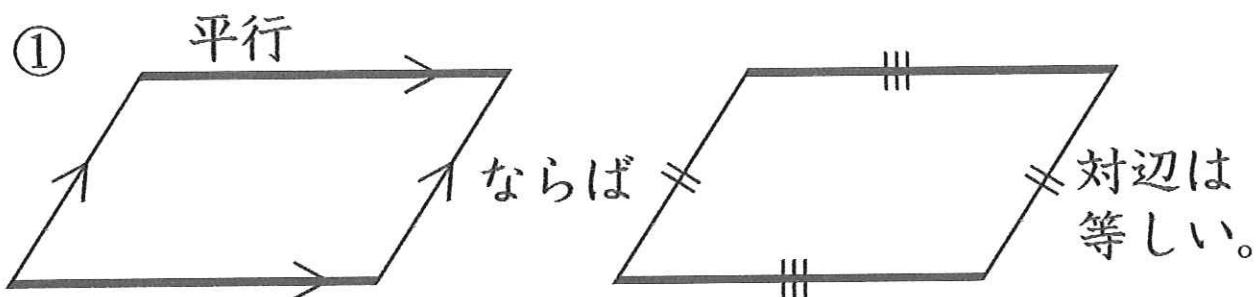
と言う。

覚えて言いなさい。

左側の文章を見て、右の文章に言い換えなさい。
 右側の文章を見て、左の文章に言い換えなさい。

<p>むかい合う辺が 2組とも平行な 四角形の むかい合う辺は 2組とも等しい。</p>	<p>平行四辺形の 対辺は それぞれ等しい。</p>
<p>むかい合う辺が 2組とも平行な 四角形の むかい合う角は 2組とも等しい。</p>	<p>平行四辺形の 対角は それぞれ等しい。</p>
<p>むかい合う辺が 2組とも平行な 四角形の 2本の対角線は お互いに 真ん中の点で交わる。</p>	<p>平行四辺形の 対角線は 中点で交わる。</p>

四角形において、もし対辺が2組とも



上のことをふつう次のように言い表す。

平行四辺形 ならば 対辺は等しい。

平行四辺形 ならば 対角は等しい。

平行四辺形 ならば 対角線は
中点で交わる。

平行四辺形になる条件

を考える。

平行四辺形になる条件 1

むかいあう辺が

2組とも

平行な

四角形を

平行四辺形

と名づける。(と言う)

この[平行四辺形の定義]も

[平行四辺形になる条件]に数える習慣です。

定義 が

なる条件 と言うのも いささか変ですが

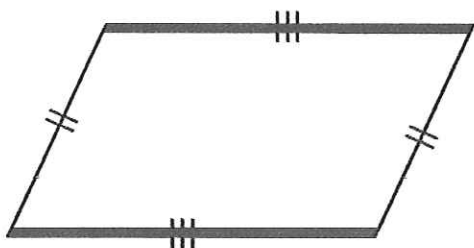
教科書にしたがって これを

平行四辺形になる条件

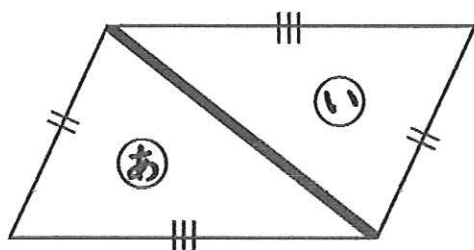
と呼ぶことにしましょう。

平行四辺形になる条件 **2**

四角形の
対辺が
2組とも等しいとき



対角線を引くと



2つの三角形

①と②は

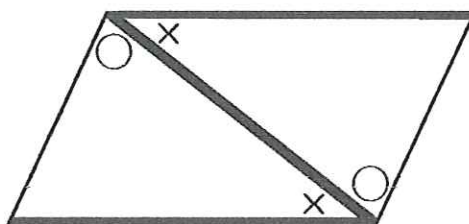
対角線を共通な辺として

3つの辺が

それぞれ等しいので

合同であると言える。

それゆえ下図のように
対応する角が
等しい。



これは

錯角が

2組とも等しい

ことなので

対辺が

2組とも

平行であると言える。

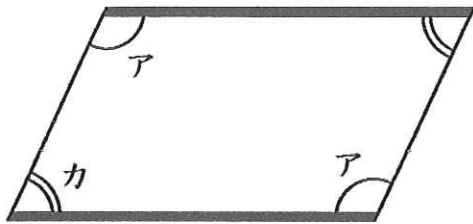
すなわちこの四角形は

平行四辺形

である。

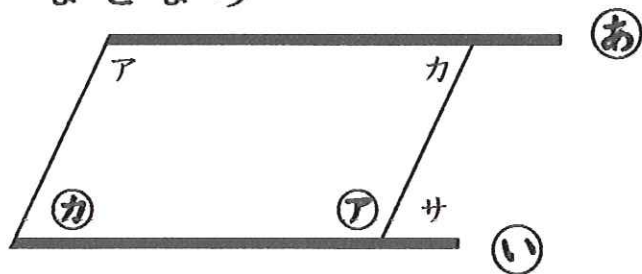
平行四辺形になる条件 3

**四角形の
対角が
2組とも等しいとき**



**対辺は
2組とも平行**である
と言える。

なぜなら



ア2つと
カ2つとの和は
 360°

であるから

ア1つと
カ1つとの和は
 180°

$$\text{ア} + \text{カ} = 180^\circ$$

$$\text{ア} + \text{サ} = 180^\circ \text{ だから}$$

$$\text{カ} = \text{サ}$$

$$\text{カ} = \text{サ}$$

$$\text{角カ} = \text{角サ} \quad \text{すなわち}$$

**錯角が等しいので
あと い は平行。**

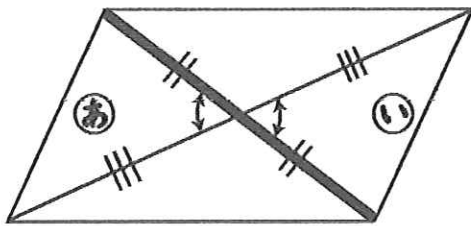
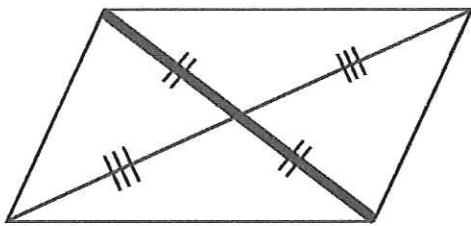
$$\text{角カ} = \text{角サ} \quad \text{すなわち}$$

**同位角が等しいので
残りの2辺も平行。**

**2組の対辺が平行
と言えたので
平行四辺形
である。**

平行四辺形になる条件 4

四角形の
対角線が
互いに中点で交わるとき
2組の合同な三角形が
 できる。

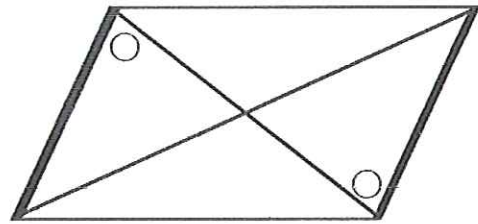


三角形 **あ** と **い** は
 対頂角をはさむ
 2辺がそれぞれ等しい。

これは
三角形の合同条件

2辺とその間の角が
 それぞれ等しい
 にあてはまる。

合同であるから



対応する角が等しい。

これは
錯角が等しい
 言えるので。

1 **太線は平行**

である。

残りの三角形2つも
 合同だから

2 残りの2辺も**平行**

と言える。

対辺が

2組とも平行

と言えるので

これは

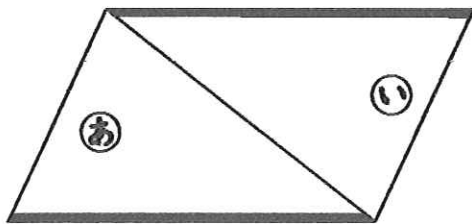
平行四辺形です。

平行四辺形になる条件 **5**

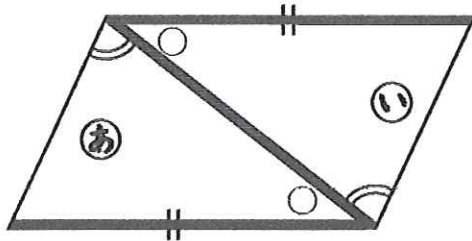
四角形の
向かいあう1組の辺が
平行で等しいとき

対角線をひくと
2つの合同な三角形
に分れる。

となぜ言えるか。



三角形 **あ** と **い** は



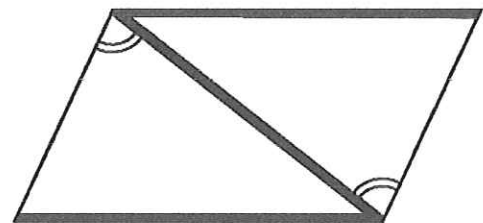
① 対角線を共通にしている。

② 平行線だから
錯角が等しい

③ 対辺が等しい
(もともとそう言っている。)

これは
2辺と
その間の角が
それぞれ等しい
ということだから
2つの三角形は
合同です。

さらに合同だから



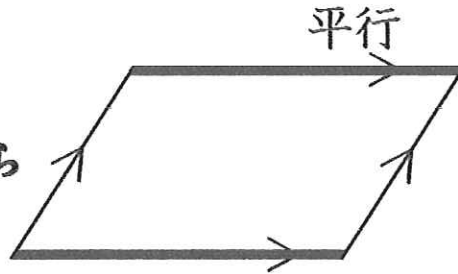
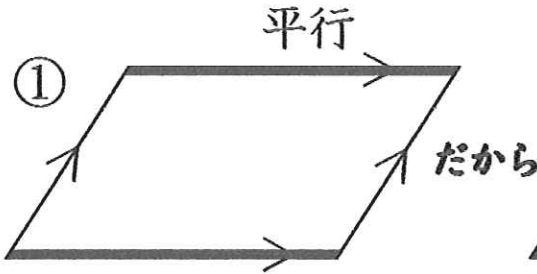
図のように
対応する角が
等しい。これは
錯角が
等しいことだから
対辺が平行。

2組の対辺が平行
と言えたので
この四角形は
平行四辺形です。

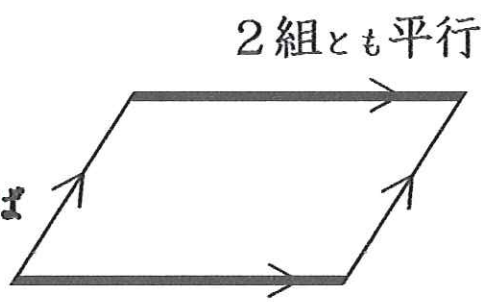
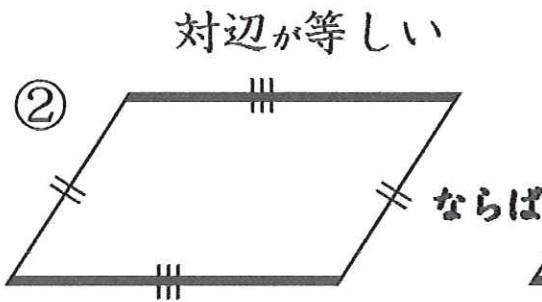
平行四辺形になる条件をまとめると次のとおり。

条件(仮定)

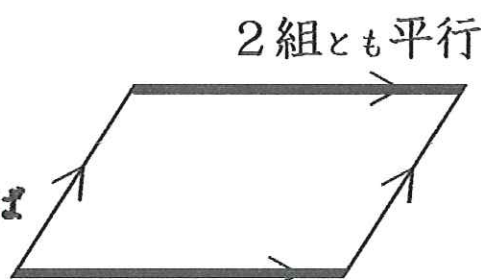
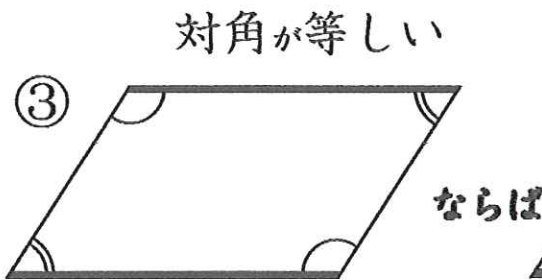
結論
2組の対辺が平行



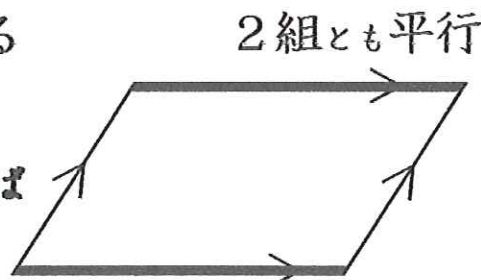
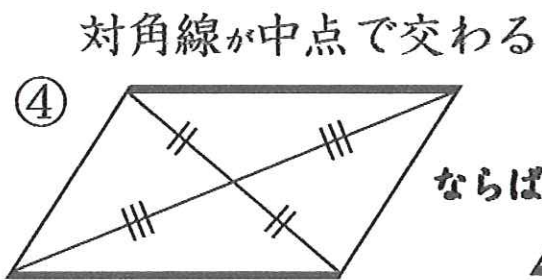
四角形の
対辺が2組とも平行
ならば
対辺は2組とも平行
トートロジーと言う
(同義反復)



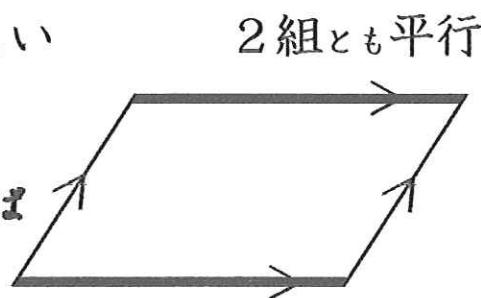
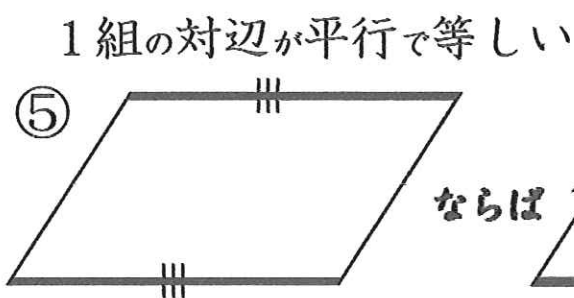
四角形の
対辺が2組とも等しい
ならば
対辺は2組とも平行



四角形の
対角が2組とも等しい
ならば
対辺は2組とも平行



四角形の
対角線が中点で交わる
ならば
対辺は2組とも平行



四角形の
対角が平行で等しい
ならば
対辺は2組とも平行

平行四辺形になる条件

四角形において

- ① 2組の対辺が平行 ならば
(定義)

四角形の対辺は2組とも平行

- ② 対辺が2組とも等しい ならば

四角形の対辺は2組とも平行

- ③ 対角が2組とも等しい ならば

四角形の対辺は2組とも平行

- ④ 対角線が中点で交わる ならば

四角形の対辺は2組とも平行

- ⑤ 1組の対辺が平行で等しい ならば

四角形の対辺は2組とも平行

四角形が平行四辺形になる条件

① 定義

② 対辺が2組とも等しいとき

③ 対角が2組とも等しいとき

④ 対角線が中点で交わる時

⑤ ひとくみ1組の2対辺が
平行で等しいとき

平行四辺形になる。

上の5つの 平行四辺形になる条件を一気に言えるように練習しなさい。

[証明の流れ]

(2組の対辺が平行な四角形を
平行四辺形と名づけている。 (定義)

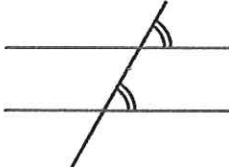
平行四辺形であることを

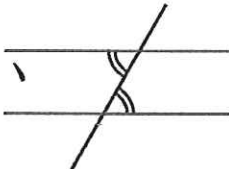
言明するためには
平行四辺形の定義の

2組の対辺が平行である

とさえればよい。

平行である。と言うためには 

同位角が等しい。または 

錯角が等しい。とさえばよい 

そのために、しばしば

三角形の合同を

つかう。

